



KIDS
DESIGN
AWARD
2017

「第11回キッズデザイン賞」内閣総理大臣賞など本日発表！

～子どもが育ちやすい。子どもを育てやすい。優れたデザインを顕彰～

キッズデザイン協議会＜会長：山本 正己（富士通株式会社 取締役会長）＞は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・空間・サービス・研究活動などを顕彰する「キッズデザイン賞」の第11回受賞作品 298点の中から、最優秀賞、優秀賞、特別賞など、優秀作品34点を本日発表いたします。

第11回目を迎えるキッズデザイン賞は、2007年の創設以来、全国の企業だけでなく、自治体や教育機関 NPOなど様々な団体から応募いただき、今年度で総受賞数は2,453点、応募総数は4,081点となりました。今年度は、ICTを活用した子育て支援の広がりや、子ども・子育て支援新制度により施設関連の応募が多数見受けられました。

「第11回キッズデザイン賞」の賞体系

内閣総理大臣賞(最優秀賞) 1点								
子どもたちの安全・安心に 貢献するデザイン		子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン			子どもたちを産み育てやすいデザイン			
①子ども部門	②一般部門	③クリエイティブ部門	④リテラシー部門	⑤消費者育成部門	⑥個人・家庭部門	⑦地域・社会部門	⑧男女共同参画部門	
経済産業 大臣賞 1点	経済産業 大臣賞 1点	経済産業 大臣賞 1点	経済産業 大臣賞 1点	消費者 担当大臣賞 1点	少子化対策 担当大臣賞 1点	少子化対策 担当大臣賞 1点	男女共同参画 担当大臣賞 1点	
優秀賞	キッズデザイン 協議会会長賞		キッズデザイン 協議会会長賞		キッズデザイン 協議会会長賞			<復興支援部門> キッズデザイン 協議会会長賞
特別賞	東京都知事賞		審査委員長特別賞		審査委員長特別賞			TEPIA特別賞
	審査委員長特別賞							
キッズデザイン賞(第二次審査通過作品)								

※各賞受賞作品(34点)の一覧は表彰式終了後にお渡しします。

● キッズデザイン賞とは？

子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・空間・サービス・研究活動などを表彰しています。普及を後押しすることで、子どもを産み育てやすい社会づくりを目指して、子どもが使うものはもちろん、大人が使うものでも子どもに配慮されたものやサービスなど幅広く顕彰する制度です。



＜審査委員長 益田文和からのコメント＞

細部に亘って、子どもの安全と安心に意をつくした製品づくりから始まって、子どもを取り巻く生活環境全体に配慮が行き届いた設計へと、応募されるデザインの内容は年々広がりを見せてきた。11年目を迎えた今年は更に領域を広げ、子どもたちを産み育てやすい社会環境を作るために、親たちを支えるインフラやシステムにまで踏み込んだ意欲的な提案が数多く見られるようになってきた。キッズデザインが子育て社会そのもののデザインへと進化できれば良いと考えている。

「第11回キッズデザイン賞」実施概要

- 【主 催】 特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会
- 【後 援】 経済産業省、消費者庁、内閣府
- 【特別協賛】 森ビル株式会社
- 【概 要】 キッズデザイン賞はすべての製品・空間・サービスが対象の顕彰制度です。
「子どもが安全に暮らす」、「子どもが感性や創造性豊かに育つ」、「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という3つのデザインミッションを実現するための優れた製品・空間・サービスを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。
- 【募集対象】 乳幼児用品や玩具などの子ども用の製品・空間・サービスはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもへの配慮、子ども目線を持った幅広い製品・空間・サービス・プログラム・調査研究活動などを対象とします。日本国内において2017年11月 1日時点で市場に出ているもの、成果が見られる取り組みや活動などが応募対象となります。
- 【募集期間】 2017年3月3日(金) ～ 5月12日(金)
- 【応募方法】 キッズデザイン賞WEBサイト<<http://www.kidsdesignaward.jp/2017/>> より受付
- 【受賞数】 受賞数受賞数 298点（応募数：462点）
応募者は、キッズデザインの3つのデザインミッションから設けられた以下より応募部門を選択。
- 【部 門】 **《子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン》・・・受賞数 88点**
子ども向け、あるいは一般向けの製品、建築・空間、サービスにおいて、子どもへの安全に配慮されたもの。
- 《子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン》・・・受賞数 126点**
子どもの感性・創造性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に資する製品、建築・空間、サービスにおいて、新たな発想、工夫、手法があるもの。
- 《子どもたちを産み育てやすいデザイン》・・・受賞数 84点**
親（妊婦含む）や育児に関わる人が利用する製品、建築・空間、サービスにおいて、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものを含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。
- 【カテゴリー】 A. プロダクト
B. 建築・空間
C. コミュニケーション
D. 調査・研究 ※公開を原則として審査料無料
E. 復興支援 ※審査料無料

【報道関係者からのお問合せ先】

「第11回キッズデザイン賞」広報事務局（カーツメディアワークス内） 澤田・田口・小石

TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-mail：info@kartz.co.jp

【企業様からのお問合せ先】

「第11回キッズデザイン賞」事務局 TEL：03-5405-2142 FAX：03-5405-2143（平日10:00-17:00）

主催：特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会 TEL：03-5405-2141 FAX：03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階



KIDS
DESIGN
AWARD
2017

『第11回キッズデザイン賞』 各賞受賞作品一覧

2017年9月25日

特定非営利活動法人

キッズデザイン協議会

「第11回キッズデザイン賞」優秀作品一覧

受賞タイトル			作品名		応募者／応募団体名		展示 No.	
最優秀賞			内閣総理大臣賞		西武鉄道株式会社 新型通勤車両40000系 川崎重工工業株式会社		1	
子どもたちの安全・安心に	優秀賞	子ども部門	経済産業大臣賞	小児科オンライン	株式会社 Kids Public		4	
	奨励賞		キッズデザイン協議会 会長賞	福岡市立こども病院	地方独立行政法人 福岡市立病院機構 株式会社 山下設計		2	
				髪の毛付きインナーキャップウィッグ 「肌優(はだやさ)」	株式会社 グローウィング		3	
	優秀賞	一般部門	経済産業大臣賞	積水ハウスの分譲マンションにおける 安全・安心のための取り組み	積水ハウス株式会社		9	
	奨励賞		キッズデザイン協議会 会長賞	MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS の進化	マツダ株式会社		5	
				屋内用視覚障がい者誘導システム 「UDフロアシステム」	田島ルーフィング株式会社 株式会社 クワハタデザインオフィス 近畿大学理工学部社会環境工学科福祉環境計画学研究室		6	
	特別賞	東京都知事賞		サッカーゴール転倒防止固定装置	株式会社 ルイ高		10	
		審査委員長特別賞		駅すばあと for Pigeon.info	ビジョン株式会社 株式会社 ヴァル研究所		7	
				携帯型ジュニアシート マイフォールド	株式会社 ダッドウェイ Carfoldio Ltd.		8	
	子どもを拓くデザインと創造性	優秀賞	クリエイティブ部門	経済産業大臣賞	錯視ブロックワークショップ	錯視ブロックワークショップグループ		16
奨励賞		キッズデザイン協議会 会長賞		アクティブラーニングこんなのはどうだろう 6カ国教育比較コラム	電通総研アクティブラーニングこんなのはどうだろう研究所		14	
				保育室スマイルエッグス「木の子」	学校法人 みんなのひろば 株式会社 手塚建築研究所		15	
優秀賞		リテラシー部門	経済産業大臣賞	こじまこども園	社会福祉法人 こじま福祉会 こじまこども園 株式会社 エムアーキ		22	
奨励賞			キッズデザイン協議会 会長賞	キンダーかがくミュージアムシリーズ ビッグからだジグソー	株式会社 フレーベル館		17	
				アクティブ ラーニング スタイル スタフィット&ピーノ	株式会社 岡村製作所		18	
優秀賞		消費者育成部門	消費者担当大臣賞	日本と世界の子どもたちが創発。 「せかい!動物かんきょう会議」	せかい!動物かんきょう会議プロジェクト		20	
奨励賞			キッズデザイン協議会 会長賞	新津駅エコステ省エネモニター	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社 三菱電機株式会社		19	
				宇都宮市立中央小学校紅茶部 「おもてなしキッズ」育成デザイン	ワイズティーネットワーク株式会社		21	
特別賞		審査委員長特別賞		手作りキッズまくら	西川リビング株式会社		12	
				日本一楽しい漢字ドリル うんこ漢字ドリル	株式会社 文響社		13	
子どもを育てやすいデザイン		優秀賞	個人・家庭部門	少子化対策担当大臣賞	母子健康手帳アプリ	NPO法人 ひまわりの会 株式会社 NTTドコモ 株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ		30
		奨励賞		キッズデザイン協議会 会長賞	いこーよ	アクトインディ株式会社		29
	授乳チェア HugHug (はぐはぐ)				パラマウントベッド株式会社		33	
	優秀賞	地域・社会部門	少子化対策担当大臣賞	JOHNSON TOWN	株式会社 磯野商会 渡辺治建築都市設計事務所		34	
	奨励賞		キッズデザイン協議会 会長賞	ほっぺるランド板橋小豆沢	株式会社 テノ.コーポレーション a_d_d_o一級建築士事務所		31	
				キッズリー保育者ケア	株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ		32	
	優秀賞	男女共同参画部門	男女共同参画担当大臣賞	マミーズプロジェクト	ミサワホーム株式会社		26	
	奨励賞		キッズデザイン協議会 会長賞	dr.label Baby Carrier	アイデス株式会社		23	
				ママは大工さん(住宅施工者育成プログラム)	株式会社 ヤマダ・ウッドハウス		24	
	特別賞	審査委員長特別賞		福岡市こども総合相談センターえがお館 ウェブサイト	福岡市こども総合相談センターえがお館 九州大学田北雅裕研究室		28	
				ヤマハ親子バイク教室	ヤマハ発動機株式会社		27	
	TEPIA特別賞				しゃべり描きUI(ユーザーインターフェース)	三菱電機株式会社		11
	<復興支援部門> キッズデザイン協議会会長賞 奨励賞				災害時、心をつなげるマーク	NPO法人 はままつ子育てネットワークびびび		25

■作品名 西武鉄道株式会社 新型通勤車両40000系

■企業・団体名 西武鉄道株式会社／川崎重工業株式会社

概要：

「40000系」は、現在「スマイルトレイン」の愛称で親しまれる「30000系」車両の後継として、「人にやさしい、みんなと共に進む電車」をコンセプトに「やさしさ」「沿線に寄り添う」「未来志向・先進性」をキーワードにした、これからの100年に向けて走り出す「進化したスマイルトレイン」です。



《審査評》

公共交通における子連れでの移動は、社会問題化している。ベビーカーを置ける空間構成や子どもが好む窓の外の景色が見られる窓の高さ、車内空気環境の向上など、子育てと移動という課題解決に向けた徹底した取り組みは高い社会提案性を有しており、こうした課題へ社会の目を改めて向けさせる説得力を持っている。これらの総合的な評価を踏まえて最優秀賞とした。

利用者の意識調査から課題抽出、解決策の検討、VRも活用した保護者・子ども視点での検証等、利用者目線を取り込む設計が細部にまで注ぎ込まれており、生活者視点に立った優れた移動空間を実現した。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども向け、あるいは一般向けの製品、建築・空間、サービスにおいて、
子どもへの安全に配慮されたもの。

【子ども部門】

優秀賞 経済産業大臣賞

展示No.4

■作品名 小児科オンライン

■企業・団体名 株式会社 Kids Public

概要：

「小児科オンライン」はスマホで小児科医と直接相談できるサービスです。「子どもが発熱したけど救急受診は必要かな」平日18～22時に営業しているため、まさにそんなシーンに活躍します。「最近子どもの湿疹が気になる」そんな普段解決できない悩みにも対応しています。予約制なので待ち時間がなく、気軽な相談で子育てを支援します。



《審査評》

子育て層の孤立化や溢れる情報の選択の難しさから、育児の不安は増し、小児科外来受診者数は少子化と反比例して増加傾向にある。子どもが夜、熱が出たがどうしたらよいかわからない、といった悩みや不安への対応は育児者のみならず医療機関にも負担が大きく、緊急を要するケースばかりではない。子育て世代が使い慣れたアプリで小児科医に遠隔相談できることで、不安の解消と不要な緊急受診の削減という両面に効果が認められる。企業や健康保険組合との連携を進めている点も含め、ネットワーク時代の新たな子育て情報インフラ構築の取り組みとして高く評価した。

■作品名 福岡市立こども病院

■企業・団体名 地方独立行政法人 福岡市立病院機構／株式会社 山下設計

概要：

旧病院の老朽化と狭隘化に加え、日進月歩の高度医療への迅速な対応が困難になったことによる小児専門病院の移転新築プロジェクト。不安や苦痛を抱くこどもたちの心理に配慮した環境づくりを目指した。積み木のような外観、地域に開かれたランドスケープ、診療機能を前面に出さない工夫など、こどもの視点に立ち楽しげで優しいデザインを目指した。

《審査評》

印象的なファサードは、ここが病院であることを感じさせず、病気に向き合う子どもたちの心理的負担を和らげることに成功している。機能的な空間配置から明るく楽しげな空間デザインへの転換を明確に指向しており、動線上に見える各種サインや木質化など細部にも子ども目線の配慮を感じさせる。



■作品名 髪の毛付きインナーキャップウィッグ「肌優（はだやさ）」

■企業・団体名 株式会社 グローウィング

概要：

病気や抗がん剤治療などで髪を失った子どもが、好きな帽子と組み合わせて気軽に使用できるウィッグ。肌に触れる部分に天然繊維のオーガニックコットンを使用しているため、敏感肌の子どもでも安心して使用できる。伸縮性と通気性に優れ、一人でも着用できる手軽さが特徴。髪のおしゃれで子どもの日常生活をサポートする。



《審査評》

子どもの敏感な肌に優しく、快適・手軽に着用できる天然素材のウィッグ付きキャップで、積極的な外出をサポートする良品である。医療用ウィッグのための毛髪を寄付する「ヘアドネーション活動」では提供する髪の長さに条件があるが、本製品では通常の半分の長さの髪でも参加・提供が可能であり、幅広い支援を得られる意義は大きい。こうしたものづくりと活動の広がりをさらに期待したい。

■作品名 MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS の進化

■企業・団体名 マツダ株式会社

概要：

お母さんの体力的・精神的なゆとりが子どもを笑顔にするという新たな視点、新型CX-5に2014年～16年までの応募技術に加えて2017年の新提案（チャイルドシートに関連技術など）を織り込むという継続と積み重ねで、MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDSを進化させました。



《審査評》

歩行者としての子どもの安全、子どもによるエンジンの誤始動や車酔い軽減といったこれまでの安全技術に加え、「運転する母親と同乗する子どもへの配慮」という新たなテーマに取り組んだ。子どもを抱きかかえての乗降性に配慮したドア開度の変更や運転と子どもの見守りの両立が求められるシーンでの運転支援機能など、具体的かつ細部にわたる調査と検証が生んだ技術提案は素晴らしい。

■作品名 屋内用視覚障がい者誘導システム「UDフロアシステム」

■企業・団体名 田島ルーフィング株式会社／株式会社 クワハタデザインオフィス
近畿大学理工学部社会環境工学科福祉環境計画学研究室

概要：

UDフロアシステムは、低突起型の点字ブロックを核にした屋内用視覚障がい者用誘導システムです。白杖での認識に優れ、高齢者、肢体不自由な方、子どもなどがつまずきにくく、ベビーカーや車いすの移動を妨げません。ベビーカーに与える振動を1/9程度に軽減。建物を使用するすべての人にやさしい施設環境を提供します。



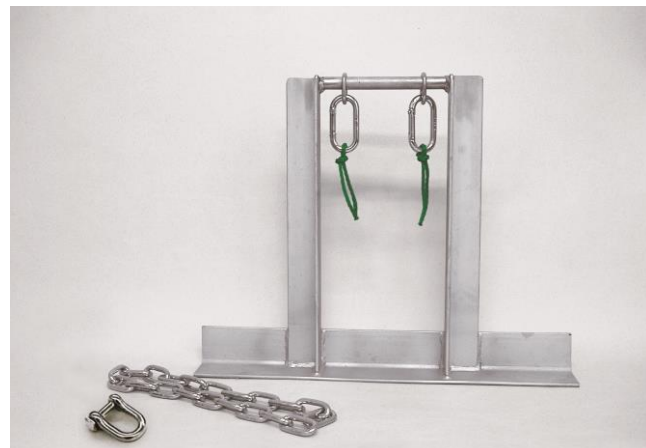
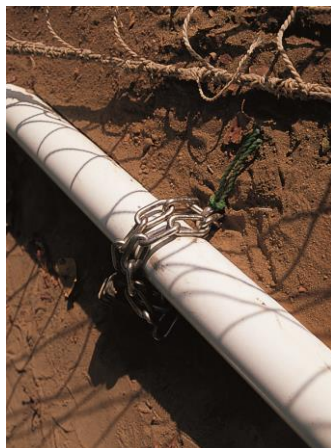
《審査評》

空間のバリアフリー化が推進されるなかで、点字ブロックの突起による子どものつまずきやベビーカーで移動しにくいなど、トレードオフの問題を抱えてきた。またブロックを移動する際のベビーカーの振動で子どもが起きてしまうなどの悩みも聞かれている。工学的検証を経て、この背反する課題に取り組み、視覚障がい者も、子どもも子育て層も安心できる空間づくりに貢献している点は高く評価できる。

■作品名 サッカーゴール転倒防止固定装置
 ■企業・団体名 株式会社 ルイ高

概要：

ゴールを移動させるたびに杭を抜き差しするのは大変な作業です。作業の煩わしさを解消し、管理体制を構築できる提案として、チェーンで簡単に固定できる固定装置を開発しました。グラウンドの表層に合わせた各種ラインアップも充実させています。



《審査評》

サッカーゴールは構造上、重量の大半が前面に偏っており、バランスを崩すと前面に倒れやすく圧死等の重篤な事故につながる場合もある。現場では従来の転倒防止杭の使いづらさ、十分な重量のおもりを運搬する労力等から、転倒防止策が十分に行き届かない現状もある。2002年以来、多様なタイプに対応した取り扱いやすいゴール固定装置の開発を手掛け、ゴール自体の軽量化や学校等への事故防止の啓発活動にも注力してきた、長年にわたるスポーツ現場での安全性確保の取り組みを総合的に評価した。

■作品名 駅すばあと for Pigeon.info
 ■企業・団体名 ピジョン株式会社／株式会社 ヴァル研究所

概要：

お子さん連れやベビーカーを利用する方向けの「やさしい経路」を案内するサービス。お子さん連れのお出かけは荷物も多く、おむつを替える場所を探すのも一苦労です。「やさしさ度」で経路を比較できたり、乗り換え時間に余裕をもたせた経路を検索できたり、エレベーターや多目的トイレなど駅の設備情報の閲覧も可能です。

《審査評》

ベビーカーを押していたり、幼い子ども連れでの移動の最適経路は、乗り換え数や所要時間が優先されるとは限らない。本サービスは外出を躊躇する要因となりがちな設備面の詳細情報を提供しており、子連れでの外出を心理的・物理的に後押ししてくれるニーズの高い提案である。やさしさ度の指標で経路間の比較が可能な点も選択肢を増やしてくれており評価できる。



機能紹介



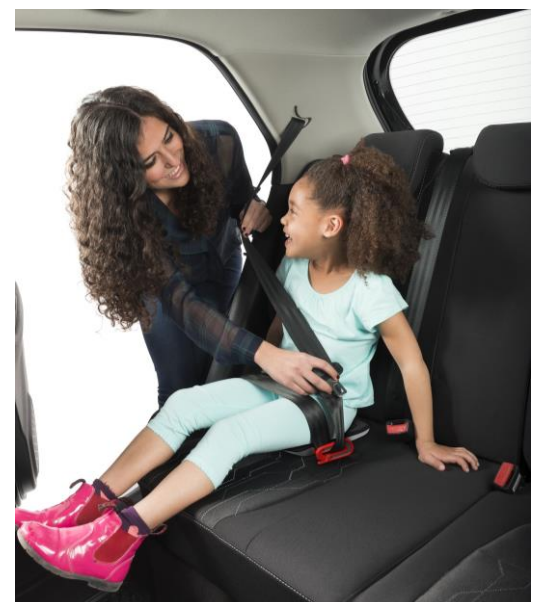
■作品名 携帯型ジュニアシート マイフォールド
 ■企業・団体名 株式会社 ダッドウェイ／Carfoldio Ltd.

概要：

持ち運べるジュニアシート（体重15kg～36kg）。安全基準 UN R44.04に適合した安全性を備えつつ、革新的な新発想で従来のジュニアシートに比べ、圧倒的な軽量・コンパクト化を実現。タクシーやレンタカー、帰省先と常にどこでもジュニアシートを使用できる。子どもが正しく簡単にシートベルトを装着できるコンパクトデザイン。

《審査評》

チャイルドシート使用義務期間は6歳だが、実際は9歳程度の体格まで、大人用シートベルトでは正しい位置で固定できない。携帯性と逆転の発想で、乗車時の安全の空白期間を埋められるアイテムである点を評価した。外出時に他人の車に乗る際など、子ども自身でも持ち運びやすく、取り付けやすい製品である。



子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの感性・創造性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に資する製品、
建築・空間・サービスにおいて、新たな発想、工夫、手法があるもの。

【クリエイティブ部門】

優秀賞 経済産業大臣賞

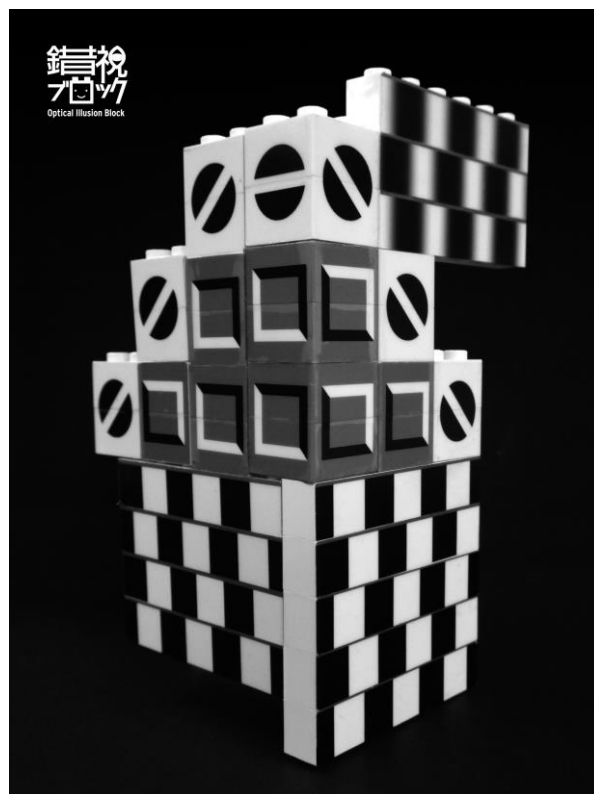
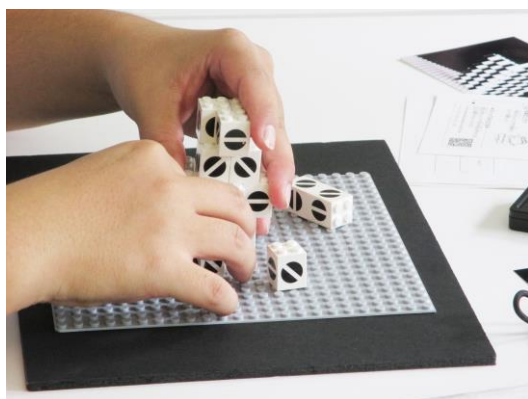
展示No.16

■作品名 **錯視ブロックワークショップ**

■企業・団体名 **錯視ブロックワークショップグループ**

概要：

自分が手で触るモノが錯覚を起こす。絵や画面の中ではなく、現実の物体で錯覚が起こることを体験することができる。自分で創った錯視を、様々な方向から観察すると、錯視の強さが観察方法で変わること気づく。このような身体運動を通じた学びのしかけと、主体的な参加を促進するワークショッププログラムをデザインしました。



《審査評》

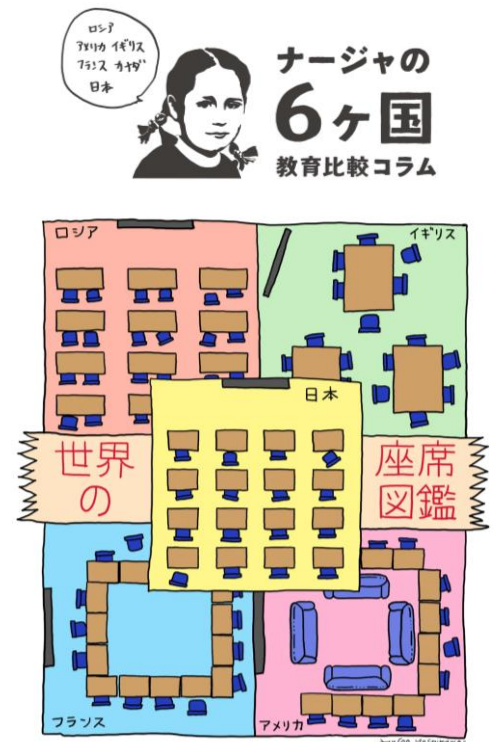
錯視は「視覚における錯覚」で形や長さ、方向などが特定条件や要因のせいで実際とは違って知覚されることである。錯視を活用して、子どもの科学的な見方や考え方の学習につなげようという意欲的試みである。見る角度によって異なる形になるなど、思いがけない発見があり、身体性を伴いながら自らの知覚の不思議に気づくことができ、ファッションや建築などの幅広い分野にも活かされる知見である。継続的な活動であり、その結果からも有効性が認められる、クリエイティビティを喚起する秀逸なパッケージと言える。

■作品名 アクティブラーニングこんなのだうだろう6カ国教育比較コラム

■企業・団体名 電通総研アクティブラーニングこんなのだうだろう研究所

概要：

著者はソ連に生まれた後、両親と共に世界6カ国に転勤。その度に地元校で教育を受けた。電通入社後、世界の広告賞を総ナメ。2015年には世界コピーライターランキング1位に。その背景には世界でのまさに多様なアクティブな教育があった。そのことをWeb電通報で記事化したら驚異のアクセス数となり日本の教育業界にインパクトを与えた。



《審査評》

6カ国での教育を体験した著者による比較コラム集であり、教育者にとっても、空間デザイナーにとっても示唆的である。善し悪しや優劣を語るのではなく、その違いに気づき、新たな試みへの意欲をかき立てる。各国の教室での机の並べ方の違いは教え方の方針を示している、という指摘はまさにアクティブラーニングの多様性を示唆している点で興味深い。

■作品名 保育室スマイルエッグス「木の子」

■企業・団体名 学校法人 みんなのひろば／株式会社 手塚建築研究所

概要：

大きな番傘を傾けたような形の0～1歳児の保育所。すべてを木で仕上げた木の傘に包み込まれたような空間。傾けた軒は子どもだけが通れる低い軒から大人が通る高い軒へと変化していく。少し歪んだ楕円の平面形状はどこにも終わりがなく、傾いた傘の形はすべてが一樣でない、変化に富んだ空間を生み出す。

《審査評》

番傘のような屋根の園舎が特徴的であり、屋内屋外とも木の素材感を大切にした優しく、温かみのある空間になっている。左右非対称の外観もシンボル性があり、かつそれ自体が遊具となりえるようにと設計への思いが読み取れる。子どもの成長とともに空間の見え方や外周での遊び方も変化する、時間軸をも見据えたデザインが素晴らしい。



優秀賞 経済産業大臣賞

展示No.22

■作品名 こじまこども園

■企業・団体名 社会福祉法人 こじま福祉会 こじまこども園
株式会社 エムアーキ

概要：

子どもは自分で遊びを見つける。子どもたちが遊びという生活の中で、先生や地域の人々と共に、自然な街を作り上げていくことを期待した。そのために、木造園舎、芝生広場、ミニタウンで構成される保育園を、子どもの深層心理に残るサステナブルデザインで建替えた。こじまこども園は地域と支えあいながら子どもを育てている。



《審査評》

裸足で駆け回れる30メートル四方の広大な芝生、発見の喜びのある園庭、開放感のある快適な木造園舎など、保育施設としての優れた機能性を子どもの心に刻むサステナブルデザインとして巧にまとめあげた。保育室、廊下、ピロティまでフラットに走り抜けられる空間構成が心地よい。木造園舎の短工期実現、経営母体である自動車部品メーカーのプレス技術を活かした新開発のチタン瓦の採用、社員による伐採、製材による社有林の杉材活用など、CSV活動としての側面も評価できる。

■作品名 キンダーかがくミュージアムシリーズ
ビッグからだジグソー

■企業・団体名 株式会社 フレーベル館

概要：

キンダーかがくミュージアムシリーズは「うちゅう」「いのち」「しぜん」「からだ」の4つのテーマで構成した園向けの科学教材シリーズです。ビッグからだジグソーは、子どもたちに「からだ」の仕組みを身近に感じてもらうことで、自分のからだを大切に思う気持ちや、健康的に生活することを考えるためにつくられた等身大のパズル教材です。



《審査評》

軽量で安全性の高いEVA素材のパズルを楽しみながら、身体構造を覚えられる人体模型キットである。パーツはほぼ実物大で、子どもが自分の身体の不思議やすごさに気付くきっかけを与えてくれる。骨、内臓、筋肉の3層構造で実際に手を動かしながら遊び学べ、友達と共同作業で組み立てることができる点は、こうした教材において重要なポイントである。

■作品名 アクティブ ラーニング スタイル スタフィット&ピーノ

■企業・団体名 株式会社 岡村製作所

概要：

「スタフィット」

スタフィットは「fit your learning posture」というコンセプトのアクティブラーニング向け昇降デスクです。アクティブラーニングのさまざまな学習スタイルに合わせて立ったり、座ったりと最適な姿勢になるように高さを調節でき、またキャスター付きでスムーズにレイアウト変更ができます。

「ピーノ」

少し腰を掛ける姿勢や、ステップに足を掛けて通常の座り姿勢で使えるハイスツールです。スタフィットとセットで使用することで、スムーズに立ち座りができ、さまざまな姿勢変化が必要とされるアクティブラーニングに最適です。子どもの体格に合わせて座面高を3種類（560SH・610SH・670SH）取り揃えました。



《審査評》

自ら課題を発見し、議論しながら答えを導く主体的・協働的な学びであるアクティブラーニングの導入が進んでいるが、家具のデザインからこれに応えたものでシンプルながら機能的な点がよい。新たな学習スタイルを経験するためにはハード側から提案できることも多いことを証明してくれた好例である。同一コンセプト上の製品として、2点の応募作品を合わせて評価した。

優秀賞 消費者担当大臣賞

展示No.20

■作品名 日本と世界の子どもたちが創発。

「せかい!動物かんきょう会議」

■企業・団体名 せかい!動物かんきょう会議プロジェクト

概要：

「動物になって考えよう」を合言葉に、子どもたちが大好きなアニメーション手法を用いて、次世代の日本と世界の子どもたちが、よりよい地球の未来について話し合い考え合う「教育コンテンツ番組」を含む総合エデュテインメント事業です。本作品は2016年、モンリオールの企業と日本・カナダ共同開発合意し、世界規模でプロジェクトが進行中。



《審査評》

環境や多様性をテーマに生活や経済との関わりを理解する、歴史あるプログラムが、ITやAIといったテクノロジーを駆使してグローバルな展開に至った。日本の子どもたちが世界中の子どもたちとともに持続可能な開発目標（SDGs）を考えるきっかけとなり、経済や生産、消費、廃棄に至るまでサステナブルな視点を持つことの重要性を習得するという視点で本賞にふさわしいものとする。積極的な発言が不得手な日本の子どもも、キャラクターに仮託することで発言でき、世界の子どもたちとの交流を通じてコミュニケーション力育成にもつながる優れたプログラム構成と言える。

■作品名 新津駅エコステ省エネモニター
 ■企業・団体名 東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社／三菱電機株式会社

概要：

JR東日本では、新津駅を環境配慮型の駅「エコステ」として整備し、電車の回生電力や鉄道林の駅舎への利用、省エネ設備機器の導入などに取り組んでいる。日常的に利用する駅を「環境教育」の場としてこれらの取り組みを子どもが興味を持って理解できるよう、駅コンコース、待合室に、見た目に楽しく触って遊べるコンテンツを企画、デザインした。

《審査評》

駅は子どもが通学で毎日のように通う場所であるがゆえ、繰り返し学び体験するための拠点として活用する格好の場でもある。思わず触ってみたいくなるようなインターフェイス、身近なテーマからエネルギーや環境について学ぶコンテンツなど、今後多様なテーマに横展開が可能な点も期待を抱かせる。子どもたちの好奇心や創造性を刺激する表現方法をさらに工夫して、幅広い展開を望んでいる。



■作品名 宇都宮市立中央小学校紅茶部「おもてなしキッズ」育成デザイン
 ■企業・団体名 ワイズティーネットワーク株式会社

概要：

日本初の小学校紅茶部として今年で5期目となる取り組みです。弊社の本業である「紅茶」を通して、美味しい紅茶を淹れるだけでなく、郷土愛やおもてなしの心を育むことを主眼にしております。また、世界の茶の産地や歴史を学んで世界に興味を持つきっかけ、宇都宮紅茶MAP作製や研究発表、紅茶屋台の出店等の外部活動の場も提供しております。

《審査評》

小学校の部活動を通し、新たな地域資源としての紅茶への理解や郷土愛、おもてなしの心の涵養などさまざまな成果を上げている。児童、学校、保護者、教育委員会、地域ボランティア、企業の6者それぞれにメリットのあるシステムが成立し、地域づくり・町おこしとしてのムーブメントを作り上げている点は、まさに生産する側、消費する側の双方への理解を深めている。



■作品名 手作りキッズまくら
■企業・団体名 西川リビング株式会社

概要：

眠育活動の一環として、子どもたちが眠りや寝具に関心を持ち、眠ることが楽しくなることを目的に、2017年に発表した「手作りキッズまくら」。専用スケールや計量カップを組み立てるところから始まり、身体を測り、計算し、その結果をもとに中材の量を調整することで、世界に一つだけの自分専用まくらを作ることができるキットです。

《審査評》

成長期の子どもの睡眠は体の成長や脳の働き、精神面にも大きな影響を与える。このキットはまくらという身近なアイテムの中にも、身体寸法との関わり、寝心地など人間工学的な要素が多く含まれることを教えてくれる。まくら作りを通じて楽しみながら眠りについて考え、正しい睡眠習慣を身につける啓発性と自作のプロセスを高く評価した。



■作品名 日本一楽しい漢字ドリル うんこ漢字ドリル
■企業・団体名 株式会社 文響社

概要：

全例文に「うんこ」を使った、まったく新しい漢字ドリルです。たとえば1年で習う「田」なら…①田んぼのどまん中でうんこをひろった ②田うえをしながらうんこをもらすおじいさん ③水田にうんこをなげ入れる こんな例文で、子どもが笑いながら勉強できる、日本初の漢字ドリルです。

《審査評》

漢字ドリルという学習ツールに新しいアプローチの窓を開いたその新規性と独創性に着目して評価した。繰り返しの学習で集中力の続かない作業になりがちなドリルの世界に新風を吹き込んだことは間違いなく、大胆な発想とその実行はデザイン開発における重要な要素であることを示唆する取り組みである。



子どもたちを産み育てやすいデザイン

親（妊婦含む）や育児に関わる人が利用する製品、建築・空間、サービスにおいて、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものを含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。

【個人・家庭部門】

優秀賞 少子化対策担当大臣賞

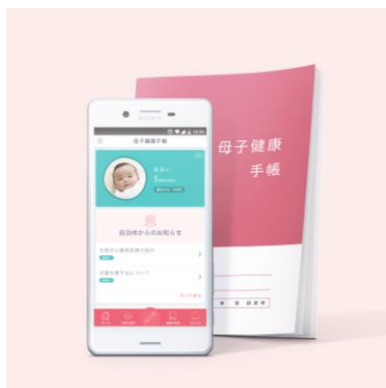
展示No.30

■作品名 母子健康手帳アプリ

■企業・団体名 NPO法人 ひまわりの会／株式会社 NTTドコモ
株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ

概要：

妊娠・出産・赤ちゃんの成長を正しく学ぶアプリ。妊娠週数や月齢に合わせて「赤ちゃんの成長に合わせたコンテンツ」を毎日お届けします。自治体や病院から子育てに大事な情報も届きます。各種健診や予防接種記録など、紙の母子健康手帳の記録をすべてクラウド保管。紙の母子健康手帳と一緒に使って欲しいアプリです。



《審査評》

子どもの成長に合わせ必要な時に必要な情報を閲覧できる、インターネット・スマホ世代向けのアプリである。こうしたプッシュ型配信サービスは、情報に対して「受身型」になりやすい生活者へ然るべきタイミングで必要な情報を届けてくれ、紙の母子健康手帳との併用でさらに効果を発揮するだろう。自治体、企業、病院、先輩ママのアドバイスなどコンテンツも有用かつ豊富で、データのクラウド保管によって成長の記録を蓄積し可視化できる点も、子育ての苦労と喜びを実感させる記録になる。

■作品名 いこーよ
■企業・団体名 アクトインディ株式会社

概要：

子どもとお出かけ情報「いこーよ」は、親子でお出かけできる遊び場、ファミリー向けイベント情報が満載！おむつ替え台や授乳室、託児所の有無など気になる情報はもちろん、お出かけ先に悩むパパママもすぐにお出かけがしたくなるような情報が詰まっています。口コミや体験記もあり、パパママの率直な感想が共有できます。

《審査評》

子連れでの外出はどこに行きたいか、よりも何ができるか、が重要でニーズは高いものの、信頼に足る情報の入手が難しい面がある。スマートフォン世代向けに、本当に欲しい情報を一つ一つ調べてデータベースを作り上げ、日本最大級のサービスまで育てた熱意は素晴らしい。広告掲載の独自のビジネスモデルも利用者、広告主双方にメリットがある点も優れている。

お出かけ先に困っている
パパママの利用シーン



日本最大級！ファミリー向け
「お出かけ情報サービス」



■作品名 授乳チェア HugHug (はぐはぐ)
■企業・団体名 パラマウントベッド株式会社

概要：

授乳時の母親への負担を軽減するよう設計された授乳チェア。背もたれに授乳クッションが取り付けられており、授乳時には外して、赤ちゃんを抱える腕を支えることが可能。アームレストは授乳クッションを載せるのに最適な高さで授乳の邪魔にならない長さを設定。

《審査評》

授乳行為は出産後の母親の身体には負担がかかる姿勢になることが多い。乳児を長時間支えることで肩の痛みや手首の腱鞘炎につながるほか、授乳がうまくいかずに子どもが泣き出すなど精神的な焦りを生じさせることもある。日常的に利用する椅子を、初めての授乳をする母親を対象にリデザインした開発姿勢に好感が持てる。



優秀賞 少子化対策担当大臣賞

展示No.34

■作品名 JOHNSON TOWN

■企業・団体名 株式会社 磯野商会／渡辺治建築都市設計事務所

概要：

15年前は、高齢化・老朽化し子どもが一人もおらず「磯野スラム」と呼ばれていた。米軍ハウスを改修し平成ハウスに建替えなどをして、子どもが50人以上住み、子育てをしながら家族の夢を叶えられるまちに生まれ変わった。



《審査評》

広大な住宅地の再生にあたり、街の独自性を活かしながらコミュニティ形成を重視した街づくりを実践してきた成果が15年を経て実証されており、喫緊であるストック住宅問題や地域再生に新たなライフスタイルの提案をすることで「子どもと住みたい街づくり」につながることを示す好事例である。街に点在する路地をコミュニティ活動の拠点として活用し、住民の自発的なイベントや活動につながっている点も、地域の多様な住民が子育てに関わるモデルとして高く評価できる。

■作品名 ほPPERランド板橋小豆沢

■企業・団体名 株式会社 テノ・コーポレーション／a_d_d_o一級建築士事務所

概要：

昔と今、人々の交流の仕方は変わりつつあります。銭湯や集会所の建物がかつて持っていた意義や文化を若い世代へ引き継いでいきたい。子どもたちの育まれるところは地域に温かく見守られる場所であって欲しい。地元住民の皆様の温かい愛情をもらいながら子どもたちは通園する日々を過ごせるよう努めた事例です。

《審査評》

脱衣所や湯船など当時の資産をそのまま活かしているユニークな取り組みである。流用できる設備を子どものスケールに合わせ再構成するなど、設計上の工夫もよく練られている。希薄になるコミュニティ意識を銭湯というシンボルに転写し、未来を担う子どもを温かく見守る意識を醸成し、地域の理解、関係も作りやすくなるだろう。



■作品名 キッズリー保育者ケア

■企業・団体名 株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

概要：

キッズリー保育者ケアは、保育園・幼稚園で働く保育者が、日々やりがいを感じながら仕事を続けていくためのコンディション診断サービスです。保育者ひとりひとりの「大切にしている仕事の価値観」や「仕事上の不安要素」を明らかにし、周囲と一緒に働きやすい環境をつくっていくためのお手伝いをします。

《審査評》

保育園・保育者のニーズが高まっている一方で、人間関係等を理由とする保育者の早期離職率の高さは課題となっている。各保育者にとっての職場での問題点を客観的に把握し、働き続けたい環境構築へつなげる、時代性を反映した取り組みである。保育者の心理的負担軽減や職場改善のための対策は、保育の質向上の面からも、産み育て分野の重要なテーマである。



優秀賞 男女共同参画担当大臣賞

展示No.26

■作品名 マミーズプロジェクト

■企業・団体名 ミサワホーム株式会社

概要：

ミサワホームのマミーズプロジェクトは、産休から復帰した女性営業社員が自身の経験とスキルを活かしながら働き続けられる新しい働き方のモデル。SNSの活用で可能とした時短による探客、親子参加型イベントの企画・実施、子育てにやさしい住宅のプロデュースなど、ママ営業がイキイキと働ける職場環境をデザインしている。



《審査評》

産後の復帰や育児に伴う時短勤務や不規則勤務の課題に対し、SNSなどのツールを活用したチーム体制を確立し、子育て支援と営業職としての実績向上の双方に貢献している。平日の分譲住宅を活用した地域の子育てママ向けのイベントや自身の経験や参加者の意見を反映した住宅提案など、子育てに関する「共感」がビジネス面での成功につながっている。職場男性の理解促進など多面的なプロジェクトから成立しており、勤務時間に制約のある他業種でも参考になるモデルである。

■作品名 dr.label Baby Carrier

■企業・団体名 アイデス株式会社

概要：

生後1か月（3.2kg）から使用可能な抱っこひもです。産婦人科／小児科の医師と協力し、赤ちゃんにとってベストな抱っこひもを目指しました。赤ちゃんの成長にあわせて、体を包み込む深さと形状をシームレスに調整できる構造や、快適性・安全性を確保できるワンタッチバックルの採用など、既存の概念にとられない新しい抱っこひもです。

《審査評》

多くの男性は抱っこひもの使用に不慣れで、このやり方でよいのかという不安を持ちやすい。本製品は80回を超える調査すべてに男性の協力を得て開発された。男性は女性に比べ体が大きくて固く、不格好を気にする傾向もあるため、男性利用の視点からも工夫を凝らしたデザインになった。男女で利用しやすい子育てグッズの開発の今後の広がりを予感させる先行例として本部門で評価した。



■作品名 ママは大工さん（住宅施工者育成プログラム）

■企業・団体名 株式会社 ヤマダ・ウッドハウス

概要：

今後不足し続ける大工の早期育成を目的に始めた段階的に集中施工するチームによる施工体制は、全工程全技能の取得が職業的自立の条件である職人の世界を、部分的な技能取得でも職業的自立を可能にした。この育成プログラムは、長い修行が必要で女性進出が難しかった職人の世界にも子育て中の女性が就ける環境を作り出している。

《審査評》

大工の仕事にチーム施工制を採用することで、多様な人材の就業を可能にする人材育成プログラムである。日中仕事が多い大工は就業時間が読みやすく、保育所への迎えに間に合う、チーム制のため子どもの急病時でも現場から抜けられるなどメリットも多い。大工不足という住宅・建築業界の構造的問題の解決と女性の職種拡大へつながる社会提案性を高く評価した。



●集中施工による施工人材の早期育成 ●即座に途中のステップで留まっても職業的自立が可能 ●女性や高齢者に働きやすい機会を提供 ●次工程を意図するチーム施工により品質向上が図れる		年収600万円台 階段・伝統和室の専門施工技術 真鍮造作の技術習得 熱め方の判断能力
年収250万円台 集出しの技術習得／図面読取知識／手道具の使い方の習得		年収450万円台 大建物の技術習得 断熱・気密の施工知識／エア工具の使い方の習得
土台敷きチーム チームなので子供の急用でも休める 1年～2年	上棟チーム 月平均20棟上棟 2年～4年	2F大工 私は体力がなくて作りに向いていない 5年
		1F大工 専門工事なので長く続けられる 5年
		階段専門工 月平均10棟分仕上げ 常に高い技術に挑戦 5年以上

■作品名 福岡市子ども総合相談センターえがお館 ウェブサイト

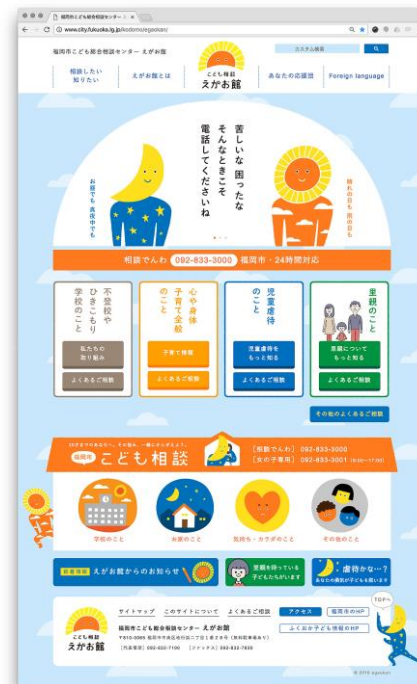
■企業・団体名 福岡市子ども総合相談センターえがお館／九州大学田北雅裕研究室

概要：

クラウドファンディングで資金を募り、児童相談所（福岡市）のサイトをリニューアルしました。集めたお金を寄付するのではなく「デザインしたサイト自体を寄付する」というアイディアで、行政の財源不足と広報デザインが行き届きにくい福祉分野の課題を同時に解決し、新たな市民協働のかたちを提示しました。

《審査評》

子どもを取り巻く社会的課題に対し、その問題を広く知らしめること、行政のみに頼らず自らの参画を促すこと、デザインの視点から訴求力を高めることなど複層的な目的を達成する意義ある取り組みである。子ども・子育ての健全な環境づくりにクラウドファンド形式が地方行政分野でも有効であることを示してくれる。



■作品名 ヤマハ親子バイク教室

■企業・団体名 ヤマハ発動機株式会社

概要：

親子バイク教室は、お子様のバイク体験を保護者がサポートしながら一緒に学ぶ、小学生向けのバイク教室。バイクの知識や免許がない保護者の方も、インストラクターのアドバイスのもと安心してご参加いただけます。二輪免許をお持ちの方は、お子様と一緒に走行できるコースもありますので、夢の親子ツーリング気分を味わえます。

《審査評》

親子での共通体験が感動と学びにつながるという点から産み育てのセカンドステップとしての提案性に賛同した。二輪車を始め、中間的なモビリティが台頭する交通社会において、楽しさだけでなく、危機管理能力やルール順守といった規範教育にもつながる魅力的な活動である。1980年から続くイベントの参加者が年々増え続けている点からもその需要が高まっていることが実感できる。



特別賞

TEPIA特別賞

展示No.11

- 作品名 シャベリ描きUI(ユーザーインターフェース)
■企業・団体名 三菱電機株式会社

概要：

話しながら画面をなぞると、指先から文字が湧き出るように話した言葉が表示されるコミュニケーションツールです。お絵かきや翻訳機能と組み合わせた表現もできます。五感メディア（視覚、聴覚、触覚、話す、書く、言葉等）を一つに集めたツールは、五感教育・言葉教育・グローバル教育等、子どもの総合的なコミュニケーション能力が向上します。

《審査評》

音声認識、他言語翻訳、手書き文字認識、手書き描画、音声認識表示といった先端技術を統合し、一人ひとりの発達・成長段階に適した優れたコミュニケーションツールとしてまとめ上げている。身体性を伴うインターフェイスはIoT時代においても必ず求められる視点であり、これらを入力にテクノロジーへの興味を喚起してくれる。次代を先取りする本賞にふさわしい内容と評価できる。



奨励賞

キッズデザイン協議会 会長賞 <復興支援部門>

展示No.25

- 作品名 災害時、心をつなげるマーク
■企業・団体名 NPO法人 はままつ子育てネットワークびっぴ

概要：

災害時の避難所などで妊婦や乳幼児、アレルギーの子どもがいることを周囲に伝える2種類のマークです。特別な支援が必要な被災者であることを知らせるのが狙いです。

《審査評》

本賞の主旨は「東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動」としてきたが、その後も各地で続く災害等により、困難な状況下におかれる子どもは後を立たない。こうした取り組みは目的の明確化と参画意識の醸成を促すという面においても意味あるものであり、各種の災害とその復興への備えとして有意義であり、さらに広がることを願う奨励賞とした。



受賞作品検索サイト 本日公開！

第11回受賞作品298点を含むこれまでの受賞作品2,453点の作品をご覧いただけます。

KIDS DESIGN AWARD 受賞作品検索

<URL> <http://www.kidsdesignaward.jp/search/>



<応募企業様からのお問い合わせ先>

「第11回キッズデザイン賞」事務局

TEL : 03-5405-2142 FAX : 03-5405-2143 (平日10:00-17:00)

主催：特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会 TEL : 03-5405-2141 FAX : 03-5405-2143
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階

* 受賞作品の画像素材のご要望等につきましては、下記、広報事務局までお問合せ下さい。 *

<本資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先>

「第11回キッズデザイン賞」広報事務局（カーツメディアワークス内） 澤田・田口・小石

TEL : 03-6427-1627 FAX : 03-6730-9713 E-mail : info@kartz.co.jp